

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		8月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
						千本	千本					
バラ	茨城	施設	サムライ アバランチェ ピンクワルツ等	周年	- (100%)	116 (前年比)	- (前年比)	40	30	30	古河市 茨城町等	・生育は平年並み。 ・大きな影響はないが、改植や品目転換、生産調整により出荷量が微減している産地が一部あり(古河)。 ・病害虫の影響は特になし。
	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	11.5 (98%)	750 (98%)	550 (98%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和	6月の高温の影響からやや小花傾向。出荷量は平年並みを見込む。
	静岡	周年	サムライ オール4ラブ ベイブ シンディ	周年 (4~6月)	1.3 (96%)	570 (100%)	430 (100%)	40	30	30	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	品質低下と販売単価の低迷により下位階級の出荷をセーブしている。8月も同様の傾向となる見込みのため出荷量は多くない見込み。サイクル的に8月上旬に厚くなるか。
	愛知	周年	サムライ08 アヴァランチェ系 ゴールドラッシュ フレアー 他	4-3月		1,620 (97%)	770 (98%)	35	30	35	ひまわり 西三河 愛知みなみ 豊橋	・生産者減少の影響で出荷量は例年よりも少なくなる見込み。 ・例年通り旧盆前後で出荷休みを取る産地・生産者がいるため中旬は出荷量がやや少なくなる。
アメリカストロ	青森	周年	オルガ アルー ピンクサブライズ	周年 (5~8月)	2.01 (105%)	1,044 (107%)	763 (107%)	50	30	20	藤崎町	生育は順調で、病害虫による大きな被害も見られず、出荷は平年並となっている。8月は平年並みの出荷量となる見込みだが、高温の影響から生理障害の発生が懸念される。。
トルコギキョウ	青森		ホクトセイ ボヤージュ ロジーナ	6月~11月 (9月)	4.80 (100%)	862 (105%)	566 (105%)	40	30	30	つがる市 田舎館村 八戸市	【津軽地区】越冬作は春先の低温により生育に遅れがみられ、4月植えは順調な生育。そのため、7月下旬以降、両作型の出荷が集中する見込み。 【県南地区】生育は順調で、八戸地区は7/15頃から販売開始となる予定。
	山形	ハウス		6/下~11月 (9/中)	21 (100%)	2,695 (101%)	1,800 (101%)	38	30	32	最上 庄内 村山	6月中旬まで朝晩の低温があり、生育が遅れていたが、6月下旬から気温が上がり生育は回復している。
	茨城	促成 施設	ボヤージュ 系、レイナ 系、マキア等	10~6月 (6月)	- (100%)	32 (前年比)	- (前年比)	50	30	20	水戸市等	・生育は平年並み。 ・白、ブルー系品種が多い。 ・病害虫の影響により出荷数量の減が懸念される。
	千葉	施設		4~8月 10~12月 (6月、11月)	7.0 (100%)	400 (100%)	300 (100%)	70	25	5	館山市 鴨川市 南房総市 (丸山、千倉)	おおむね例年どおりの生育状況であり、80cm20本入りが多く出荷できる見込み。しかし、曇天が続くとピークが8月中旬にずれ込む可能性が有る。 色は、白、ピンク覆輪、紫覆輪、緑等で晩生品種が中心に出荷される見込み。 出荷は、8月中旬でほぼ終了する。

花きの県別生産出荷概況(8月見通し)

令和4年7月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		8月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
						千本	千本					
トルコギキョウ	長野	夏秋	ハピネスホワイト クラリスピンク コレゾシリーズ レイナシリーズ	6~10月 7~8月上旬		2,000 (102%)	700 (100%)	0.4	0.3	0.3	信州諏訪 佐久浅間 松本HL 上伊那	梅雨明け後の猛暑により、5日程度前進している。温度差により短茎開花している圃場も多々見られている状況。季咲き作型は北信から中南信地区中心の出荷となっていく。
	大分	施設	セラブリッチW ホヤージュP ホヤージュII B ホヤージュII P	周年 (5、12月)	0.8 (100%)	20 (118%)	10	40	40	20	玖珠	出荷は玖珠が中心。 水害被害により6~7月の出荷を避け、8月より順次年末まで続いていく
リンドウ	秋田		ながの極早生 しなの早生 あきたの青 しなの3号	6月-11月 7-9月	1593 (94%)	3,495 (112%)	1398 (71%)	70	20	10	あきた白神 秋田しんせい 秋田おぼこ	生育は遅め。昨年在前傾向であったため丁度良い。今後の天気次第ではあるが、概ね8/6前後のピークを見込む。
	山形	露地		7/上~10月 (8月盆、 9月彼岸)	17ha	3,200 (102%)	2500 (102%)	40	40	20	最上 上山	生育が前進した昨年に比べ、生育は遅れているものの、8月盆にうまく向けられそう。

花きの市場別販売概況(8月見通し)

令和4年7月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	暖地との切り替わりの時期で高冷地の数量が纏まっていることに加え、お盆など物日需要との関連性が弱いため、供給が需要を上まわり、相場を落としている状況。量販店や仲卸など5-60cmで低単価帯の需要はある為、価格で流しながら販売。秋に向けて、一部産地や品種で改植にも入っている状況(大田)。高冷地は山形、栃木、群馬。暖地は神奈川、静岡、愛知より。暖地徐々に減少、中値相場で推移(FAJ)。さほどこれといった需要もなく、入荷量次第の相場展開(第一花き)。入荷量次第の相場展開。中旬は連休にかけてやや引き合いも見受けられる。上位等級は減少傾向。引き合いは強まる(世田谷)。入荷状況は6月下旬の急激な気温上昇の影響で生育障害が出てきており、上位等級が品薄になってきている(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	静岡や愛知など西南暖地は、価格がつかないため下位等級の出荷を控え、土耕栽培の産地は、秋に備えて剪定のため出荷お休みとなる。下旬からはケニア産のご出荷が再開する見通し。
		FAJ	山形、栃木、群馬等より入荷予定。需要期ではないが数量も減少するため保合相場の見込み
		第一花き	入荷量は少なそう。暖地の生産者については出荷自体を休むところもある
		世田谷花き	高冷地産主体の入荷。入荷量は減少。
		東日本板橋花き	7月と同様の入荷状況となる見込み。横ばいから少なめで推移。販売はもちあいを見込み。
アルストロメリア	現状	気温上昇の為、各産地 花しみが発生、株休めに入ったことで大きく出荷量が減少した為、葬儀需要中心に引き合いは強まった。北海道は他県よりも安定した出荷となったが、紫・赤などは不足感ある状況となった(大田)。山形、長野より入荷。入荷数量は徐々に減少。6月下旬から下げた相場は品薄感から回復傾向(FAJ)。高温の中、例年通り減少。引き合い変わらず、やや高値で取引(世田谷)。青森・北海道・愛知中心の入荷。昨年より少ない入荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	引き続き、葬儀需要中心だが、入荷量は変わらず、各色不足感ある出荷が続く。北海道・青森が主体だが、夏メリアで一部、愛知・長野も出荷が増える予定。
		FAJ	長野中心に岩手、山形より入荷予定。数量少なく堅調相場が続く、お盆前は高騰する見込み
		世田谷花き	入荷変わらず、引き合い落ち着く。
		東日本板橋花き	青森・北海道・愛知中心の入荷。昨年より少ない入荷量の予定だが天候次第で入荷増減あり。
トルコギキョウ	現状	千葉、茨城が数量のピークを迎え、長野、福島は徐々に増加し、数量纏まった。業務、小売りともに7月盆需要中心に引き合いがあるものの動きは鈍く、低調な相場展開となった。(大田)。宮城、山形、福島、栃木等より入荷。昨年並みの入荷数量。上位は単価つくが中位厳しい状況(FAJ)。高冷地ものが潤沢に入荷。引き合いはさほど強くない(第一花き)。西南暖地の出荷終了。千葉・長野・福島県産最盛期を迎え、潤沢(世田谷)。やや遅れがみられ、色目によってかたよりもあるが、全体に潤沢な入荷(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	長野、福島、岩手中心に数量は纏まってくる。8月盆の需要期に向け増加する品種もあるが、若干の前進傾向が見られる。
		FAJ	秋田、山形、福島中心に北海道、宮城など。例年並の数量見込みも天気次第。安定相場に戻る予想。
		第一花き	入荷は順調。8月盆で引き合いは出てきそう
		世田谷花き	秋田・北海道産も最盛期を迎える。全体的に前進傾向。
		東日本板橋花き	東北中心の入荷。特に山形がまとまってくる。
りんどう	現状	栃木は7月盆に向けて昨年以上に丁度良い出荷となったが、岩手、秋田は1週間以上遅れた出荷となり、不足感あり。一部岩手で雹の被害あった。中・下旬より昨年以上の出荷推移となり、月末からは貯蔵リンドウの対応も始まる(大田)。岩手、山形、栃木等より入荷。岩手遅れて前半は昨対比8割の数量。後半増えて下げ相場(FAJ)。東京盆で引き合い強い。例年よりやや遅めの出荷スケジュール(世田谷)。	
	見通し	大田花き	現状では昨年ほど前進しておらず、岩手、秋田共に順調な生育状況。注文のピークは8日となる見込みだが、1週目より早い納品は始まる。
		FAJ	岩手、秋田、山形、福島より入荷予定。初週が数量のピークとなり量販中心にお盆需要対応の見込み。
		世田谷花き	上旬やや落ち着くが、8月盆中心に引き合い高まる。